

2026年4月16日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：

胆道閉鎖症術後患者における長期予後および合併症に関する後方視的検討
—肝移植症例を含めた包括的解析—

1. 研究の対象

藤田医科大学病院において胆道閉鎖症の診療を行なった患者様

対象期間：対象症例の診療期間は、当院において胆道閉鎖症の診療が開始された時期から最新時点までです。具体的には、診療録により追跡可能な最も古い症例（1971年）から直近の症例までです。

なお、各症例の観察期間は、診断時または初回手術時から最終受診時、肝移植施行時、または死亡時までです。

2. 研究目的・方法・研究期間

胆道閉鎖症の患者さんにおける葛西手術後の長期的な経過を明らかにするため、当院で治療を受けられた患者さんの診療情報をもとに、自分の肝臓での生存状況や肝移植の必要性、合併症の発生などを調べることを目的としています。

この研究は、これまでに当院で胆道閉鎖症の診療を受けられた患者さんの診療情報（カルテ情報）をもとに行います。

対象となる患者さんについて、診療録や検査結果などから、性別や出生時の情報、手術の内容やその後の経過、胆管炎などの合併症の有無、肝移植の実施状況やその後の経過などの情報を収集し、長期的な経過について調べます。

収集した情報は、個人が特定できないように匿名化したうえで整理・解析します。

なお、この研究はすでにある診療情報を用いて行うものであり、新たな検査や治療をお願いすることはありません。そのため、患者さんに新たな負担やリスクが生じることはありません。

研究期間は承認された年月日から 2031 年 4 月 16 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、新たに採取する検体（血液や組織など）は使用しません。

当院でこれまでに診療を受けられた患者さんの診療情報（カルテ情報）を使用します。具体的には、年齢や性別、出生時の情報、手術に関する情報、血液検査や画像検査の結果、その後の経過や合併症の有無、肝移植の状況や転帰などの情報を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

藤田医科大学病院のみでの研究となりますので、外部へ試料・情報が渡ることとはございません。

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 小児外科 教授 氏名 井上幹大

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 小児外科
担当者：安井 稔博
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話 0562-93-9247
e-mail:t-yasui@fujita-hu.ac.jp

7. 研究資金と利益相反について

研究を実施するにあたり費用はかかりません。学会発表等に必要な費用は講座研究費を使用します。本研究に関するその他団体等からの資金提供はなく、その他本研究に関して利益相反関係はありません。

また併せて藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、適切な利益相反マネジメントを受けながら研究を行います。

書式を変更: フォント: (英) HG丸ゴシックM-PRO, (日) HG丸ゴシックM-PRO, 12 pt, 太字

書式を変更: フォント: (英) HG丸ゴシックM-PRO, (日) HG丸ゴシックM-PRO, 12 pt, 太字

書式変更: インデント: 左 0 字, 最初の行: 0.5 字